

地球温暖化対策に関する市民意識等の調査結果について

1. 市民意識等の調査について

地球温暖化対策に関する市民の認識や行動等を把握するため、これまでに以下の調査を実施している。

(1) 「仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）」中間評価のための市民意識調査

目的	杜の都環境プランに掲げる定量目標の達成状況等を把握する
実施時期	平成 27 年 6 月 30 日～7 月 15 日
調査対象	20 歳以上の市民 3,000 人
調査方法	郵送
回収数	955（回収率 31.8%）

(2) 平成 28 年度市政モニターアンケート「エネルギーや地球温暖化に関する意識や取り組みの調査」

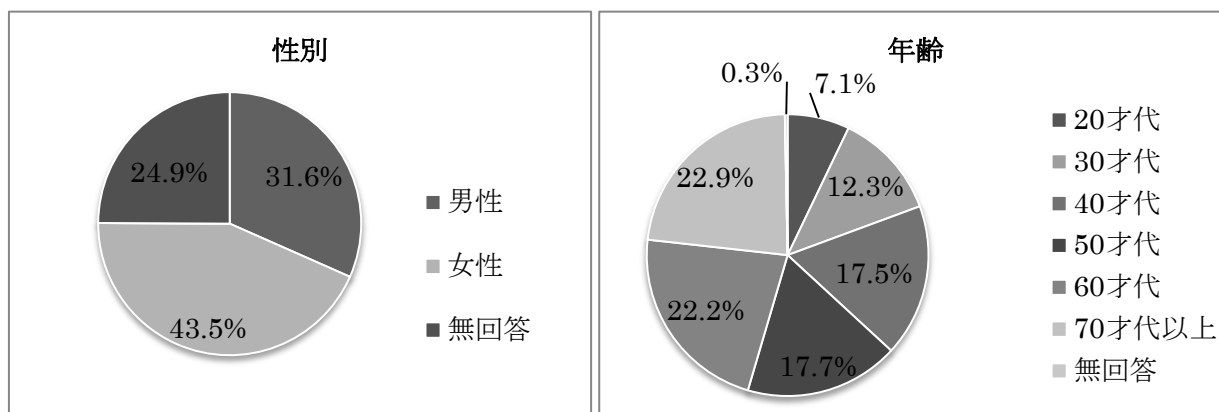
目的	市民のエネルギーや地球温暖化に対する認識・行動等を具体的に把握し、計画を推進するうえで参考にする
実施時期	平成 28 年 11 月 23 日～12 月 6 日
調査対象	市政モニター200 人
調査方法	郵送、インターネット
回収数	187（回収率 93.5%）

2. 調査結果

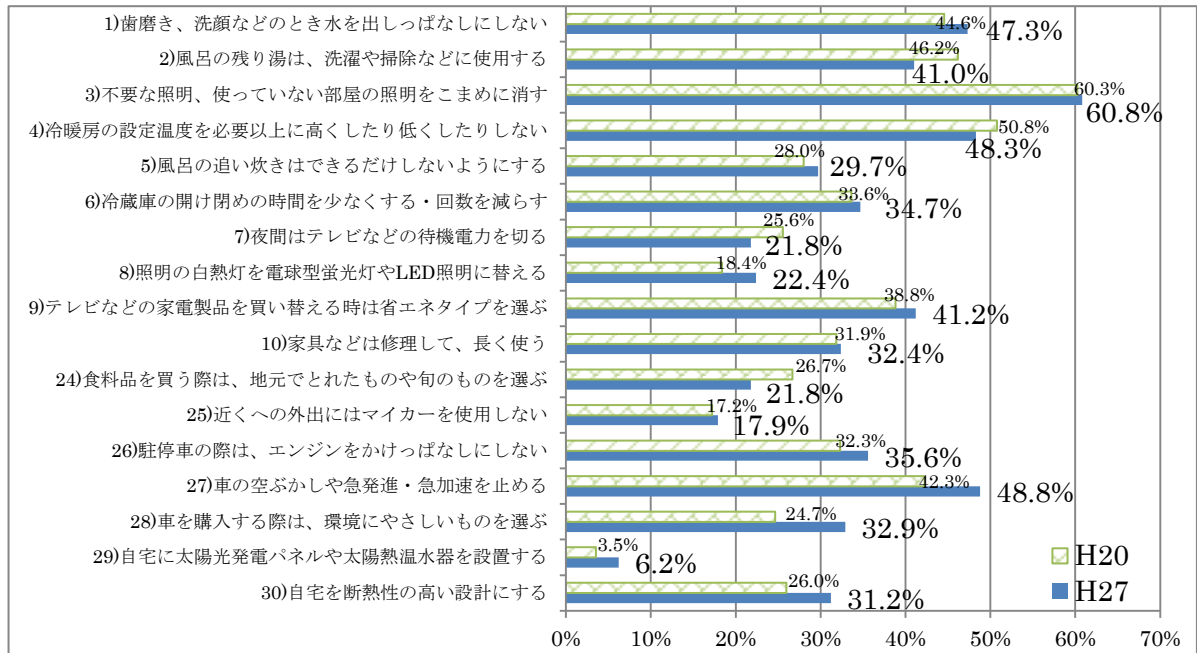
(1) 市民意識調査、(2) 市政モニターアンケートのそれぞれの調査について、地球温暖化対策に関連する設問と結果の概要を示す。

(1) 市民意識調査

① 回答者

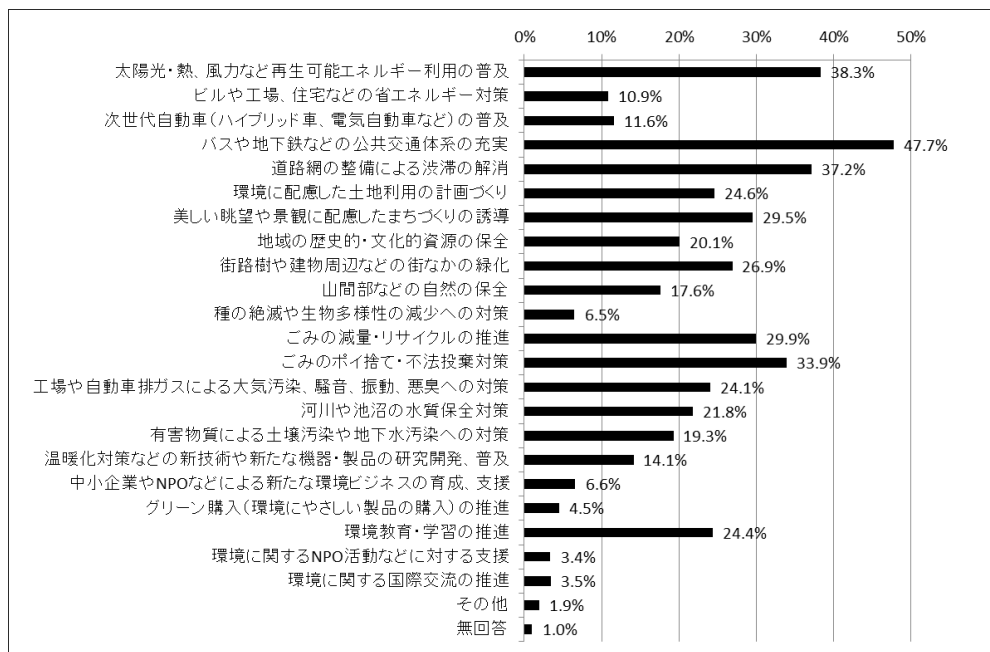


- ② 「環境に配慮した行動を行っていますか。」に対し「常にしている」と回答した人の割合
- ◆ 平成20年度の調査と比較し、車を購入する際は環境にやさしいものを選ぶ、自宅に太陽光発電パネルや太陽熱温水器を設置する、自宅を断熱性の高い設計にするなどの項目が増加しており、技術の進歩・普及が市民の環境配慮行動に影響しているものと考えられる。



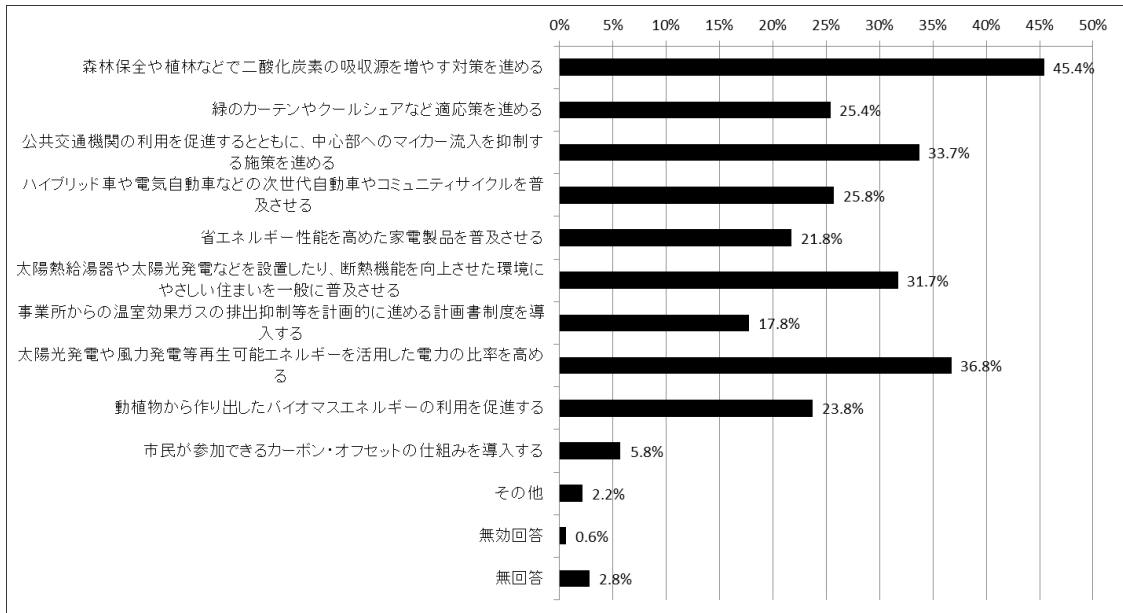
- ③ 「今後仙台市がどのような環境政策・施策を展開していったらよいと考えますか。」
(5つまでの複数回答)

- ◆ 再生可能エネルギー利用の普及、公共交通体系の充実、街なかの緑化、ごみの減量、環境教育・学習の推進などの施策を進めるべきとの意見が多い。



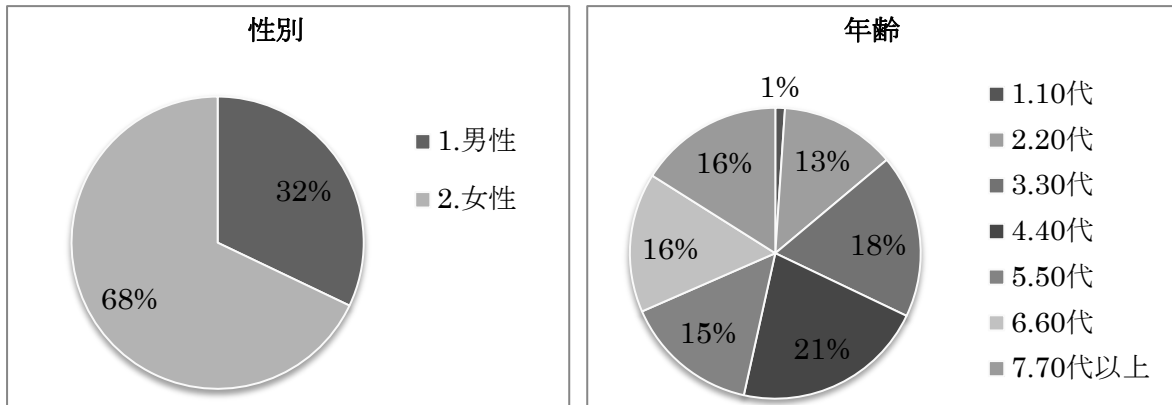
④ 「今後、温室効果ガスの排出量を減らすために、どのような取り組みを実施するのがよいと考えますか。」(3つまでの複数回答)

- ◆ 公共交通機関の利用促進などの交通に係る対策、自宅や事業所の省エネルギー対策、再生可能エネルギーの普及対策、森林保全などの吸収源対策などの意見が多い。



(2) 市政モニターアンケート

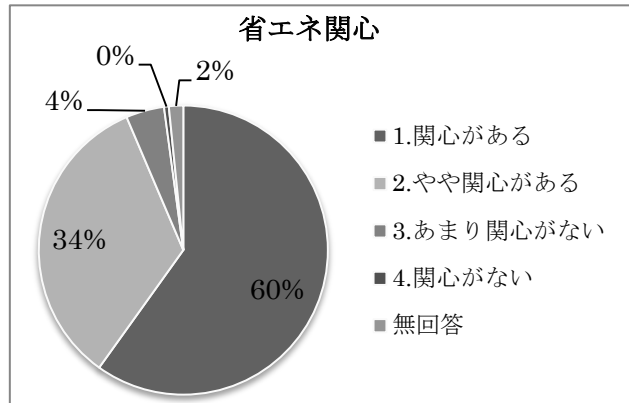
① 回答者



② 省エネルギーへの意識、取り組み

○ 「家庭における省エネに関心がありますか。」

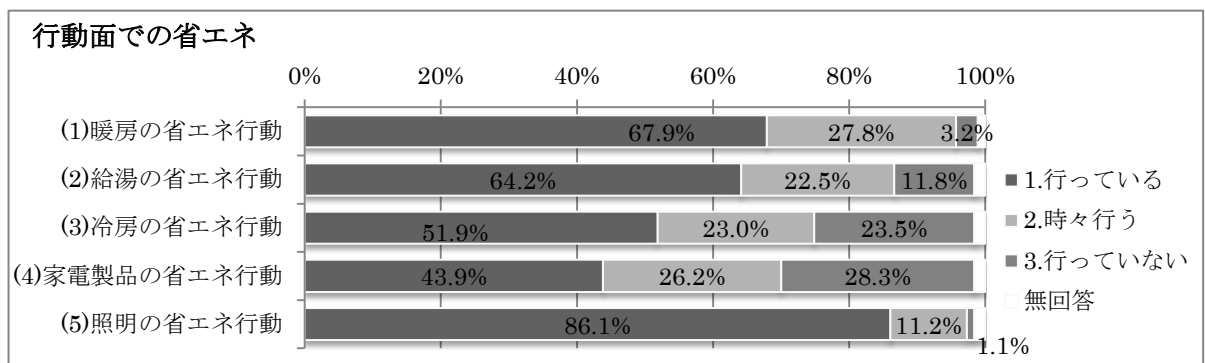
◆ 家庭における省エネへの関心は高いことがわかる。

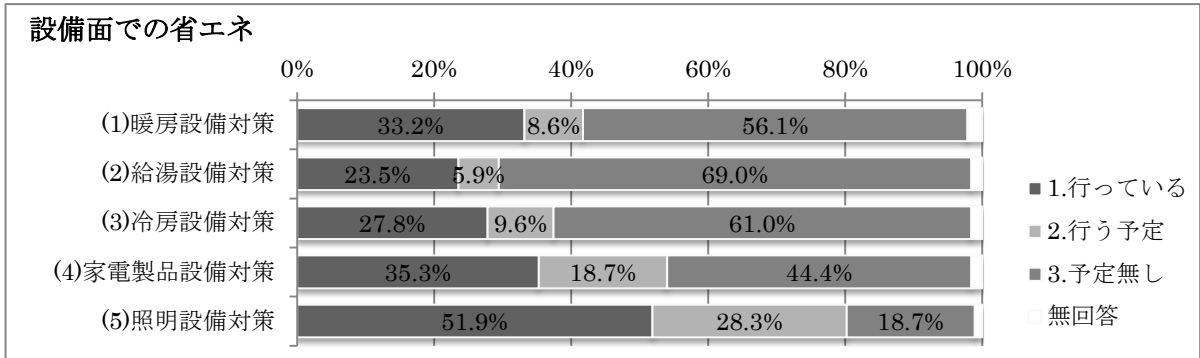


○ 「家庭において、費用をあまりかけずに行える行動（ソフト）面での省エネを行っていますか。」

○ 「家庭において、機会を捉え費用をかけて行う設備（ハード）面での省エネを行っていますか。」

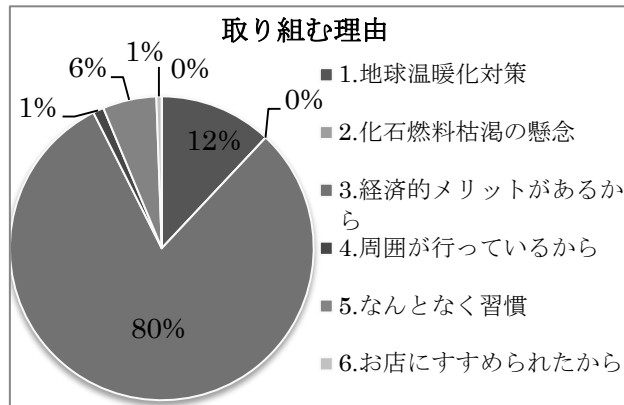
◆ 行動（ソフト）面での取り組みに比べ、設備（ハード）面での取り組みは低めの傾向にあり、分野によっても差が見られる。





○ 「省エネに取り組む理由は何ですか。」

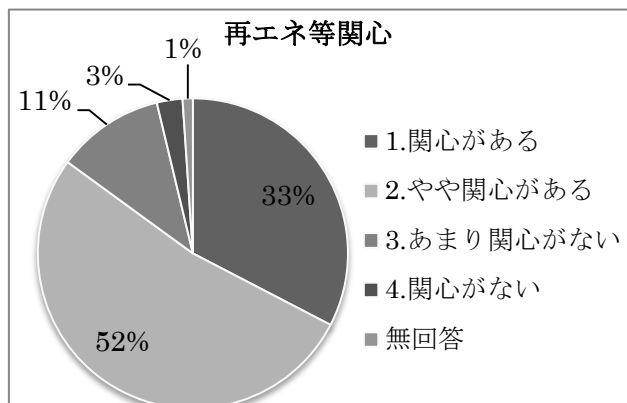
- ◆ 取り組む理由は「3. 経済的メリットがあるから」が最も多く、次いで「1. 地球温暖化対策」が多い。



③ 再生可能エネルギー等（創エネ・蓄エネ等）への意識、取り組み

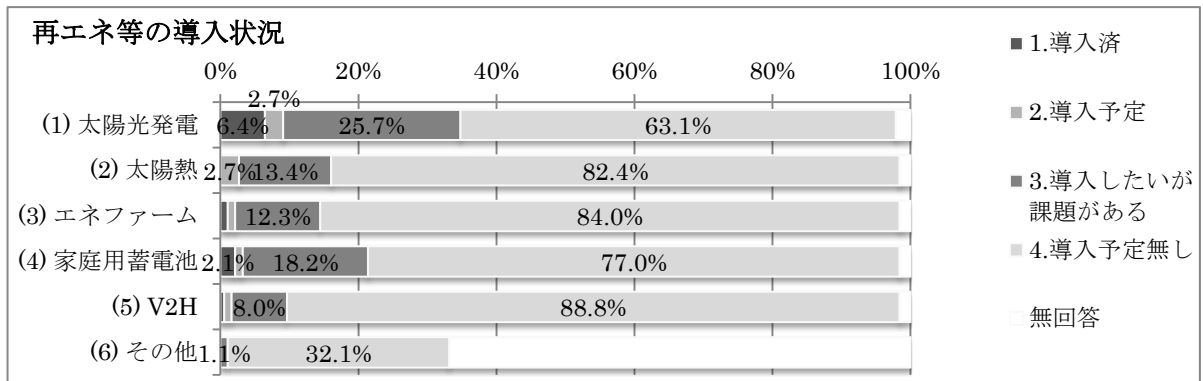
○ 「再生可能エネルギー等に関心がありますか。」

- ◆ 家庭における省エネと同様に再エネ等への関心も高いことがわかる。



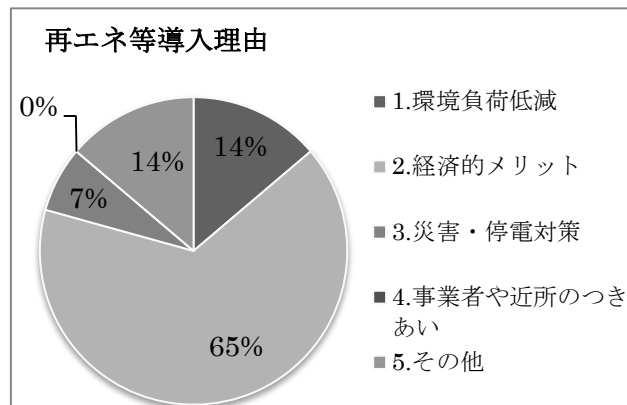
○ 「自宅で再生可能エネルギー等を導入していますか。」

◆ 自宅への導入状況は、(1)太陽光発電 6.4%、(3)家庭用燃料電池（エネファーム）2.1%の順となった。



○ 「再生可能エネルギー等の導入の理由は何ですか。」

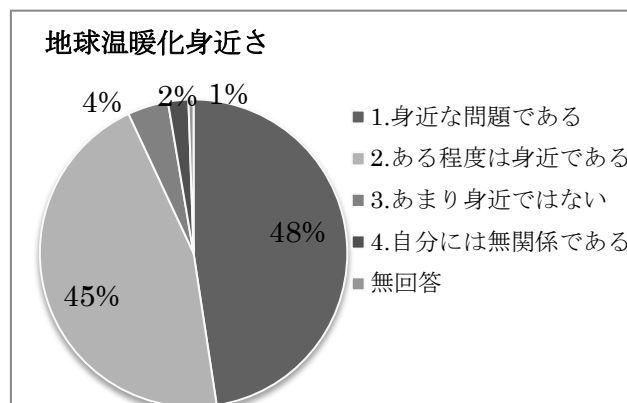
◆ 導入の理由は「2. 経済的メリット」が最も多く、H24 調査と比較すると、「1. 環境にやさしいから」、「3. 災害・停電対策」が大きく減少している。



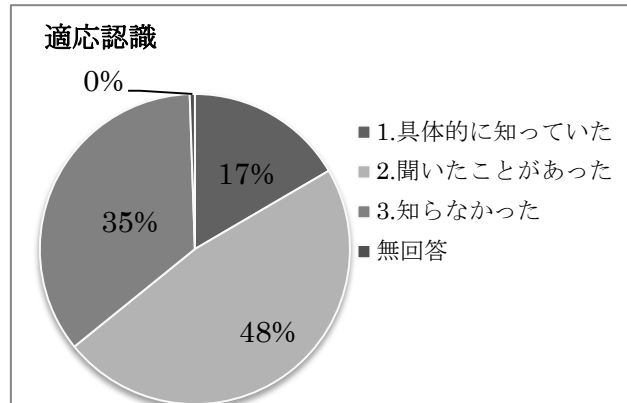
④ 地球温暖化に関する認識

○ 「あなたにとって、地球温暖化は身近な問題だと思いますか。」

◆ 「1. 身近な問題である」と「2. ある程度は身近である」を合わせると 93%となった。仙台でも平均気温の上昇や大雨の頻度や強度の増加が見られており、多くの方が身近な問題として捉えていることが伺える。



- 「地球温暖化対策は、原因となる温室効果ガスの排出量を減らすだけでなく、避けられない影響への対応も並行して進めるべきとされていることを知っていましたか。」
- ◆ いわゆる適応策（不可避影響への対応）について、「1. 具体的に知っていた」と「2. 聞いたことがあった」を合わせて65%となり、多くの市民が適応についての認識を持っていることが伺えた。



- 「地球温暖化による影響のうち、仙台において心配だと思うものはどれですか。」
(2つまでの複数回答)
- ◆ 影響のうち最も心配な分野は「3. 自然災害」であった。

